

春江東部

春江東部地区まちづくり協議会広報担当(春江東コミセン内)

URL <http://haruetobu-machikyou.com/>

坂井市春江町中筋28-1-1 (TEL & FAX 51-0187)

e-mail haruhigashi-cc@city.fukui-sakai.lg.jp人口：4,949人
(男2,401人・女2,548人)

世帯数：1,773世帯

(2022.6.30現在)

「のんびり歩こう会」開催

日 時：7月9日（土）
行 先：勝山近郊

(福祉クラブ主催)



えち鉄車窓より



勝山駅



出発式

天候が心配された7月9日は朝から曇り空。総勢37名の参加者は元気いっぱい、出発式を終えてJRに乗り込みました。

【往路】春江駅→福井駅→勝山駅→(徒歩)→ゆめおーれ勝山・花月楼
ゆめおーれ勝山ではミュージアム見学と機織り体験をしました。

10分歩いて花月楼で昼食です。傘天井は圧巻で、かっての花街をほうふつさせる建物でした。

【復路】花月楼→(徒歩)→勝山駅→福井駅→春江駅

勝山駅で電車に乗ると雨が降り始めましたが、春江駅に着く頃には雨も上がり「のんびり歩こう会」の一日が無事にそして楽しく終わりました。
※次回は10月大聖寺方面を計画しています。お楽しみに！

機織り説明を



勝山駅～ゆめおーれへ



機織りでヨースターを



ゆめおーれ勝山



行事・催し（インフォメーション）

ひだまりカフェ

（まち協主催）

毎週月曜日

朝9時半～12時（年末年始祝日をのぞく）

「歩ほ歩ウォークの会」

発行のコーヒーチケットが
使用できます。

レコード鑑賞もできます。
レコード持ち込みもOKです。



※ひだまりカフェにてのミニコンサートの
演奏者も募集しております！

お問い合わせは 春江東コミセンまで ☎51-0187

レコードを探しています♪

ご自宅で眠っているレコードをご提供願えませんか。

ひだまりカフェで、ゆったり、のんびり、懐かしくみんなで、音楽を聴きましょう。



春江東部地区ふくしの会総会

令和4年7月1日(金) 19時～

春江東コミュニティセンターにて開催され、令和3年度事業報告並びに決算報告が行われるとともに、令和4年度事業計画案並びに收支予算がいすれも原案どおり承認可決されました。

総会の後、坂井市健康福祉部 福祉総務課の斎藤正晃氏による「地域共生社会について」の講義を頂き、参加者による「地域課題や解決に向けた意見交換」を行いました。



「のんびり歩こう会感想」

東 国

先日「のんびり歩こう会」があり、春江駅から電車に乗って一路勝山へ。勝山では「ゆめお一れ勝山」での織物の町、勝山の歴史を学び、織物体験をしてきました。私たちの住む春江東部もかつては織物の盛んな時代があり、参加者の中には織物に従事した人も多く、なつかしさいっぱいの様子でした。

歩行距離は勝山駅～ゆめお一れ勝山の道のりは約4kmでしたが、7月としては比較的歩きやすい日で、私を含め皆さん元気に完歩しました。

この「のんびり歩こう会」は春江東部地区まちづくり協議会が、歩行と健康の重要性を認識し、歩くことの習慣づけにより「健康寿命」の延伸に役立ててもらおうと始められました。

歩くことで、地区の人たちがお互いが知り合い、挨拶や会話が進むことになれば、「健康で笑顔あふれるまちづくり」の一助となるものと確信できます。この「歩こう会」を機に、歩行継続による体力づくりに努めたいと思っています。みさんも一緒に歩きましょう。

(70代男性)

春江東幼保園を花いっぱいに！

まちづくり協議会の方と一緒に園庭の花壇に花の苗を植えました。初めての体験にドキドキしながら、優しく大切に苗を扱っていた園児達。毎日水やりをして、花が咲くのを楽しみにしています。

花びらを摘んで色水遊びをしたり、砂遊びの時のごちそうに見立てたり、今から遊ぶことを楽しみにしています。

貴重な体験をありがとうございました。

（春江東幼保園 教諭）



（まち協園芸班主催）

新幹線工事現場見学！！

中筋東子供会では7月2日（土）に区内新幹線工事の見学会を行いました。参加者は関心を持っていた工事現場の中に入り、レールの上を歩くという大変貴重な体験をさせていただきました。

工事の詳しい説明や質疑応答もあり、子ども達だけでなく大人も大変満足した見学会となりました。

中筋東子供会会長 三浦



「アーモンドの実を探らないで？」

アーモンドの実を勝手に採取していく人がおられましたので、当まち協ではその対策として注意喚起のために看板を立てました。

春江東部地区のシンボルとなるアーモンドです。大事に見守ってください。



旧暦の8月は「葉月」(はづき)

～豆知識～

諸説ありますが、「葉が落ちる月」で「葉落月」→「葉月」という説が有力のようです。旧暦の8月は、現在の暦でいと8月末～10月になり、夏というより秋なんですね。そのため「紅葉のあとに葉が落ちる」というのが由来になっています。

ほかにも月名はいろいろありますが、秋風月（あきかぜづき）、雁來月（かりぎづき）、燕去月（つばめざりづき）なんていう風流なものも。

立秋とは？

立秋（りっしゅう）とは「秋が立つ=秋の兆しが見え始める時期」という意味です。二十四節気の13番目で、秋を6つにわけたうちの最初の節氣。毎年8月7日～8月22日頃にあたり、2022年は8月7日（日）～8月22日（月）です。暦の上では秋が始まり、11月初旬の「立冬」の前日までが秋とされます。しかし、立秋の頃は、実際には猛暑日が続く暑さの厳しい時期。立秋に入ってからの暑さは「残暑」といい、「暑中見舞い」は「残暑見舞い」に変わります。